

医療的ケア児の実態調査について（検討資料）

1. 目的

神戸市内の医療的ケア児の状況を調査することにより、地域ごとの支援ニーズを把握し、効果的な支援策を検討するための基礎資料として活用する。

2. 対象

神戸市に在住する小学校就学前（0～5歳児）の医療的ケアを要する児童

3. 調査方法

（案1）医療機関への調査

- ①市内の医療機関へ調査票を送付し、当該医療機関が在宅療養指導管理料を算定している0～5歳の児童について、調査票による回答を依頼する。
- ②近隣市の医療型児童発達支援事業所のうち、神戸市在住の児童を受け入れている施設に対しても、同様に調査を依頼する。

（案2）医療的ケア児の保護者への調査

医療的ケア児が利用する医療機関を通じて、その保護者へ調査票を配布し、回答を依頼する。

4. 調査項目（案）

- ①居住区・町名
- ②年齢・性別
- ③ケアの内容（人工呼吸器、気管切開、在宅酸素療法、気管内・口腔内吸引、経管栄養、定期導尿 等）

（案2の場合）

- ④利用している事業所、サービスの種類等
- ⑤保護者の就労状況、就労希望の有無
- ⑥日常生活で困っていること 等

5. スケジュール（案）

平成29年8月～9月	調査内容・実施方法の検討、事前調整
10月	調査票の送付
11月～12月	回答結果の集約
平成30年1月	第2回医療的ケア児の支援施策検討会議にて結果報告 結果を踏まえた支援施策の検討